



年頭記者会見

石川県

令和8年1月5日

目 次



I 創造的復興

- 1 能登地域におけるトキの放鳥
- 2 奥能登公立4病院機能強化の大きな方向性
- 3 「今行ける能登」旅行応援の特設サイト開設
- 4 観光列車「花嫁のれん」の一般発売再開
- 5 ポケモン・ウィズ・ユー財団との連携によると里山空港を活用した能登応援プロジェクト
- 6 東京国立博物館との文化による能登復興支援協定

II 成長戦略

- 1 兼六園周辺文化の森のさらなる魅力向上
 - (1) 旧県立図書館跡地の暫定整備
 - (2) 兼六園の県有地化構想
 - (3) 兼六園駐車場の加賀や能登等への周遊バスターミナル機能
- 2 北陸と東北を結ぶ直通新幹線の運行決定
- 3 新社会福祉会館の整備



能登地域におけるトキの放鳥

- ・本州初となる能登地域におけるトキの放鳥は、令和8年6月上旬頃に羽咋市で実施
- ・さらに、国は、**令和8年9月頃**に、**能登地域で2回目の放鳥を実施することを新たに決定**
放鳥場所は、国や専門家の助言を踏まえ、能登地域トキ放鳥受入推進協議会で**今後決定**

＜令和8年度の放鳥予定の概要＞

	第1回	第2回
時 期	6月上旬頃	9月頃
羽 数	15～20羽程度	5～10羽程度
場 所	羽咋市	(今後決定)
方 法	ハードリリースとソフトリリースの併用	(今後決定)



能登地域におけるトキの放鳥

第1回目の放鳥方法

- ・**ハードリリース方式とソフトリリース方式**を併用
- ・佐渡の野生復帰ステーションで**約3ヶ月の順化訓練**を行ったトキを羽咋市へ移送
- ・**ハードリリース方式**は、6月上旬頃の放鳥日に**放鳥箱から放鳥**
- ・**ソフトリリース方式**は、今後設置する**放鳥ケージ**で約2週間、周囲の環境に慣れさせてから放鳥

放鳥の約3ヶ月前～

佐渡の施設で順化訓練



放鳥前日

羽咋市へトキを移送

6月上旬頃の放鳥日

ハードリリース
(放鳥箱から放鳥)



放鳥ケージで飼育



約2週間後

ソフトリリース
(ケージの扉開放)





能登地域におけるトキの放鳥

放鳥式の開催について

6月上旬頃の放鳥日に、**放鳥式を開催予定**



能登地域トキ放鳥PRキャラクター

主 催

能登地域トキ放鳥受入推進協議会、環境省

会 場

余喜グラウンドゴルフ場

放鳥方式

ハードリリース方式

出 席 者

国、県、能登4市5町、野生復帰検討会委員、国内分散飼育地関係者 など
※皇族のご臨席について、宮内庁と調整中

- ・ 詳細は、能登地域トキ放鳥受入推進協議会と環境省で今後検討
- ・ トキ放鳥を多くの方にご覧いただくため、放鳥式の一般見学について、見学方法を検討のうえ、後日お知らせ予定



H30年の佐渡での「トキ野生復帰10周年記念式典」での放鳥式の様子

能登地域におけるトキの放鳥

羽咋市での放鳥式の会場

眉丈山系

余喜グラウンドゴルフ場
(放鳥式会場)

南潟地区（トキ放鳥推進モデル地区）



奥能登公立4病院機能強化の大きな方向性



約2年にわたる関係者との検討の結果、

- ・**検討会**での議論がまとまつたこと
- ・**知事と4市町の首長と合意**したこと

さらに県議会での議論も踏まえて、**奥能登の医療提供体制の「大きな方向性」**を決定

【これまでの経緯】

- ・R5.12.27 奥能登4首長による**知事要望**
- ・R6. 8. 8 第1回奥能登公立4病院
機能強化**検討会**
- ・R7. 2.19 第2回 "
- ・R7. 8. 7 第3回 "
- ・R7.11.13 **知事と奥能登4首長との懇談**
- ・R7.11.20 第4回 "

R5.12.27 4首長による知事要望



R7.11.13 4首長と知事との懇談





1. 新病院の医療機能の概要

- 救急機能を集約化し「**断らない救急**」体制を構築
- **入院機能**（急性期・回復期）を**集約化**
- 大学病院等と連携し、幅広い診療能力を有する**総合診療医**を養成・配置

- ✓ **医療従事者の確保**について、**新たな施策**を検討
- ✓ **分娩**の実施については、基本構想策定の中で**引き続き議論**

2. サテライト医療機関の医療機能の概要

- 既存の4病院はサテライトとして残し、地域住民の**日常的な医療**への**アクセス確保**
- 新病院とサテライトを**一体的に運営**（シームレスな連携体制）
 - ・電子カルテの共通化による患者情報一元化など**医療DX**の推進や総合診療医の巡回など人的交流促進

- ✓ 4市町で**サテライトの詳細**（入院機能、介護医療院の必要性など）の検討



3. 新病院・サテライト医療機関の運営形態

県・4市町で一部事務組合を設立し、運営体制強化を図る

4. 新病院のアクセスの確保

自家用車以外の交通手段の確保は必要不可欠

- ✓ 各市街地～新病院間の交通手段のあり方について検討

5. 開院に向けたスケジュール（目安）

①基本構想、②基本計画、③基本設計、④実施設計、⑤建設工事 ⇒ 「開院」まで、概ね6～7年間を要する想定



奥能登新病院に向けた新たな看護師確保策（第一弾）

- 災害に強い看護師養成に取り組む**石川県立看護大学**及び高度急性期病院である**石川県立中央病院**と連携し、県立看護大学卒業生を対象とした**人材育成プログラム**を令和8年度に創設（令和8年度の県立看護大学の新入生から10名を募集）

<人材育成プログラムのイメージ>

6年のプログラム期間満了で返還免除となる修学資金
による経済的支援も検討（貸付枠：10名/年）

区分	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目
配属先	県立中央病院		奥能登新病院			

※対象学生は、卒業後、県立中央病院に就職し、奥能登新病院に派遣

〔・医療現場で必要な看護の知識、技術を修得
・高度急性期病院での看護を経験〕

〔・災害に関連する疾患等への看護や地域に根差した継続的な看護を経験〕

派遣





「今行ける能登」旅行応援の特設サイト開設



- ・国の「復興応援割」が実施されるまでの間をつなぐ、**県独自の観光需要喚起策「今行ける能登」旅行応援を12月補正で実施**
- ・**本日（1月5日）特設サイトを開設**
→ 県観光連盟が運営する「今行ける能登」ホームページで発信
- ・**1月13日より旅行会社からの申請受付開始予定**
- ・**実施期間は3月1日～7月31日**

【特設サイト】



【特設サイトの掲載内容】

支援対象	旅行会社が手配する、能登を周遊する団体旅行（8人以上）
助成条件	能登12市町の施設等を周遊する旅行商品の造成 <ul style="list-style-type: none">✓ 有料の入場・体験：観光施設・震災学習プログラムを1か所以上✓ 飲食・立ち寄り：飲食店・土産物店（道の駅など）を1か所以上
助 成 額	バス・ジャンボタクシー（1台あたり）：6万円/日 ※実費相当額の1/2上限 ➡ 金沢市以外に宿泊する場合は3万円/泊を上乗せ ツアー参加者に、能登の飲食店や土産物店などで使用できる買い物クーポン（電子）を4,000円分／日付与
期 間	R8年3月1日～7月31日（GW期間は除く）※8月以降は復興状況などを見極めながら、支援策の継続実施を検討

観光列車「花嫁のれん」の一般発売再開



JR西日本が、観光列車「花嫁のれん」の一般発売再開を決定

観光列車「花嫁のれん」は、R7年3月から、団体専用臨時列車として不定期で運行していたが、R8年3月のダイヤ改正に併せ、一般乗客向けのきっぷの販売が再開される。

【概要】

○運行再開

令和8年3月14日（土）～

○運行区間

金沢駅～和倉温泉駅

※土日を中心に、1日1往復



➡ 「今行ける能登」への一層の誘客につなげ、復興を後押し



経緯・背景

ポケモン・ウィズ・ユー財団より、「能登半島地震からの復興や被災者支援に協力したい」との申し出あり

→ **令和6年7月、石川県と財団との間で包括連携協定を締結**



能登での財団の活動実績

- ・ピカチュウの幼稚園等への訪問
- ・のと鉄道の車両・駅舎装飾
- ・「今行ける能登」PR動画の制作
- ・空港イベントの出演
- ・観光コンテンツの造成



幼稚園等への訪問



のと鉄道車両装飾



「今行ける能登」PR動画



空港開港イベント



見附島フォトスポット



ポケモンこどもキリコ



財団より、「**のと里山空港を地元の子どもたちで賑わう空港にしたい、全国のポケモンファンが能登を訪れるきっかけとなる行って楽しいポケモンの空港にしたい**」との提案あり

ポケモン・ウィズ・ユー財団と連携し、利用促進同盟会とともに、 のと里山空港を活用した能登応援プロジェクトを実施

概要

- 空港の外観・内観を装飾し、**ポケモンの世界観を体感できる賑わいスポット**にリニューアル (R8夏頃 お披露目)
- 空港施設内を**巡って楽しめる企画**の実施 (R8夏頃～)
- 能登全体を周遊する**企画**の実施 (R8夏頃～) など

地元市町とも連携し、全国からポケモンファンを呼び込む



のと里山空港

▶ のと里山空港を拠点に、**能登・羽田便の利用促進に繋げることで、関係人口・交流人口の拡大を創出**



- 初の3館合同開催となった復興支援特別展「ひと、能登、アート。」は、東京国立博物館の多大なるご尽力により、在京の美術館・博物館の数々の名品の展示が実現

→会期：県立美術館（R7.11.15～12.21）、金沢21世紀美術館（R7.12.13～R8.3.1）、国立工芸館（R7.12.9～R8.3.1）

入館者数：県立美術館 26,527人（確定）、3館合計 42,550人（R7.12.21時点）

- 今後も被災された能登の方を文化の力で応援いただくことを目的に、東京国立博物館と協定を締結（復興支援目的の自治体との協定は初）

締結式の概要

日 時 1月16日（金）9：30～
場 所 石川県庁4階 特別会議室

協定の主な内容

- 文化・芸術の連携事業に関すること
- 地域の文化資源の活用・保全に関すること
- 文化の担い手の育成や交流機会の創出に関することなど

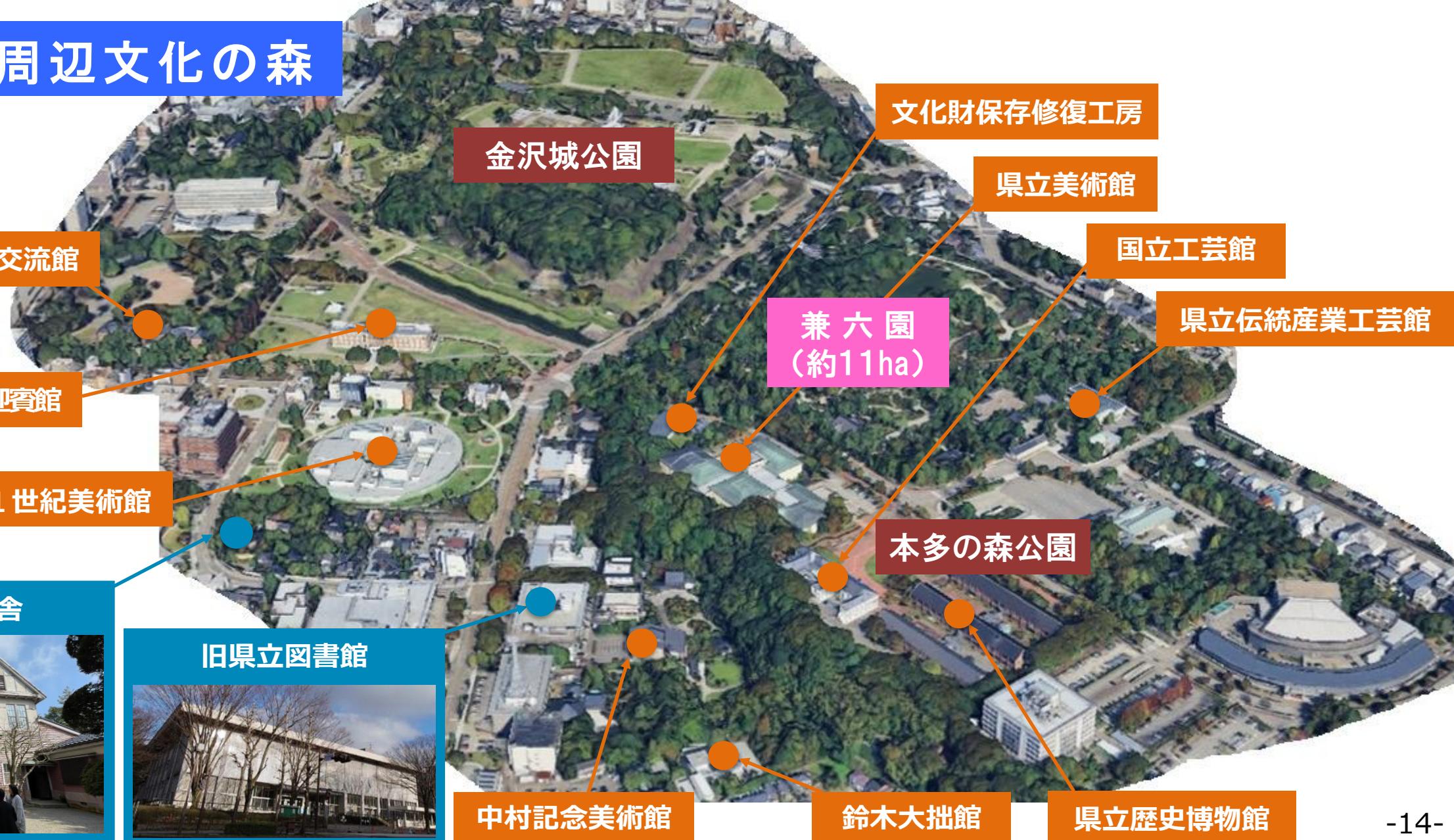


「ひと、能登、アート。」展の様子（県立美術館）



兼六園周辺文化の森のさらなる魅力向上

兼六園周辺文化の森





(1) 旧県立図書館跡地の暫定整備

兼六園周辺文化の森の一角にある「社会福祉会館」や「旧県立図書館」のエリアは、約 1 ha の広さがあり、2つの建物を取り壊し、**跡地一帯は緑地化**の方針

⇒ **憩いの場、賑わいの創出**、県立美術館など兼六園周辺の**文化施設間の回遊性向上**

- 社会福祉会館の移転は数年後になるため、
旧図書館と隣接の**旧金沢市職員会館**を
先行して解体



旧県立図書館

跡地を緑地化し、暫定利用

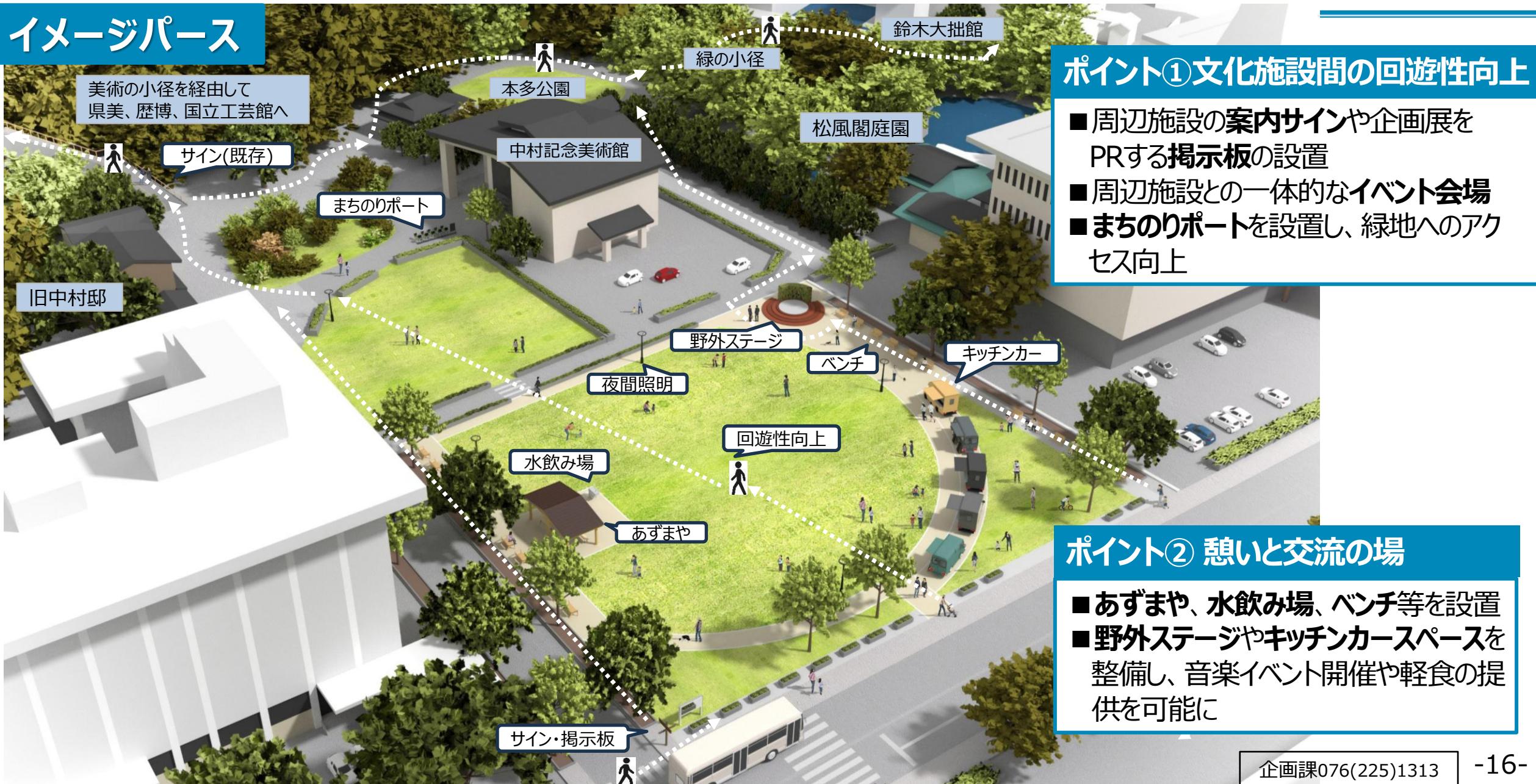


- 想定スケジュール

R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
解体設計	解体工事		緑地整備	暫定利用

(1) 旧県立図書館跡地の暫定整備

イメージパース





兼六園の歴史(明治以降)

明治 2年 版籍奉還により、前田家から朝廷に兼六園の土地を返上

明治 4年 廃藩置県

明治 6年 太政官第16号により、「公園として一般庶民が共に楽しむことのできる適當な場所を選出し、大蔵省に報告せよ」との布告があり、**県は、「兼六園」を申し出**

明治 7年 兼六園が公園地の認可を受け、**公園として一般に開園**（明治7年5月7日）

昭和25年 文化財保護法に基づく「名勝」に指定

昭和31年～現在 **県が国から無償で貸付を受け、管理**

昭和51年 入園を**有料化**

昭和60年 文化財保護法に基づく「特別名勝」に指定



(2) 兼六園の県有地化構想

兼六園は、県民の財産ではなく、国の財産【地盤国有公園】

- 県は国から無償で貸付を受けて維持管理
- 無償貸付の条件は、入園料等を財源として維持管理を行うこととされ、入園料等の収入が維持管理費を上回り、利益を上げてはならない
- 每年、県が行う整備は維持管理の域を超えてはならず、維持管理費の範囲内で入園料（現在は320円）を決定

兼六園の県有地化構想

今後も兼六園の文化財的価値を保全していく。同時に、維持管理の域を超えた「未来への投資」を行い、兼六園の価値を更に高め、石川県を国内外に一層発信。

- 産学官連携で県有地化に向けたムーブメントを起こす
- 併せて、県内各界各層で今後のあるべき「未来への投資」を議論する場を設け、その結果を国に示していく

(3) 兼六駐車場の加賀や能登等への周遊バスターミナル機能



石川県兼六駐車場

令和5年改築

収容台数

- ・乗用車 480台
- ・バス 40台(1階)



1階はバス40台を収容できる駐車スペースとなっているが、年間で満杯となる日は数日間

兼六駐車場から加賀や能登方面などへ周遊するバスターミナル機能を持たせる

- 兼六園周辺を拠点に、加賀や能登、富山県、福井県、高山や白川郷への誘客を促進
- 金沢市内のオーバーリズム対策

北陸と東北を結ぶ直通新幹線の運行決定



- ・岩手県との連携協定締結式（昨年7月）の際に、直通新幹線の運行を提案
- ・北陸三県知事懇談会（昨年10月）でJR西・東、東北各県への働き掛けを申合せ
⇒ 本県が調整役となりJR西日本・JR東日本に運行を要請

東北発・北陸発の双方向での団体専用臨時列車による直通新幹線の運行が決定

<日程> 北陸発 ⇒ 東北行：R8年5月22日(金)～24日(日) 2泊3日
東北発 ⇒ 北陸行：R8年5月23日(土)～25日(月) 2泊3日

<区間> 盛岡－敦賀間（停車駅：仙台、福島、富山、金沢、福井など各駅）

<時刻> 北陸発 ⇒ 東北行：敦賀発7時頃 → (金沢発8時頃) → 盛岡着13時頃
東北発 ⇒ 北陸行：盛岡発9時頃 → (金沢着14時頃) → 敦賀着15時頃

【効果】 ○東北からの誘客と、北陸での周遊観光の促進
○北陸と東北の両地域間の交流促進と、継続的な観光需要の創出

⇒ 運行に向け、各県で連携して誘客促進に取り組む





新社会福祉社会館の整備（イメージパース）



（金沢西高校前交差点からの展望）

※今後の設計により変更の可能性あり



新社会福祉社会館の整備（特長）

施設概要

	(現会館)		(新会館)
○面積	約8,000m ²	1.5倍	約12,000m ²
○駐車場	43台	約10倍	500台程度

機能の向上

- 相談者のプライバシーに配慮し、児童相談所と別棟で整備
- 回廊式のレイアウトを採用し、明るく、開放的な雰囲気

○新たな機能

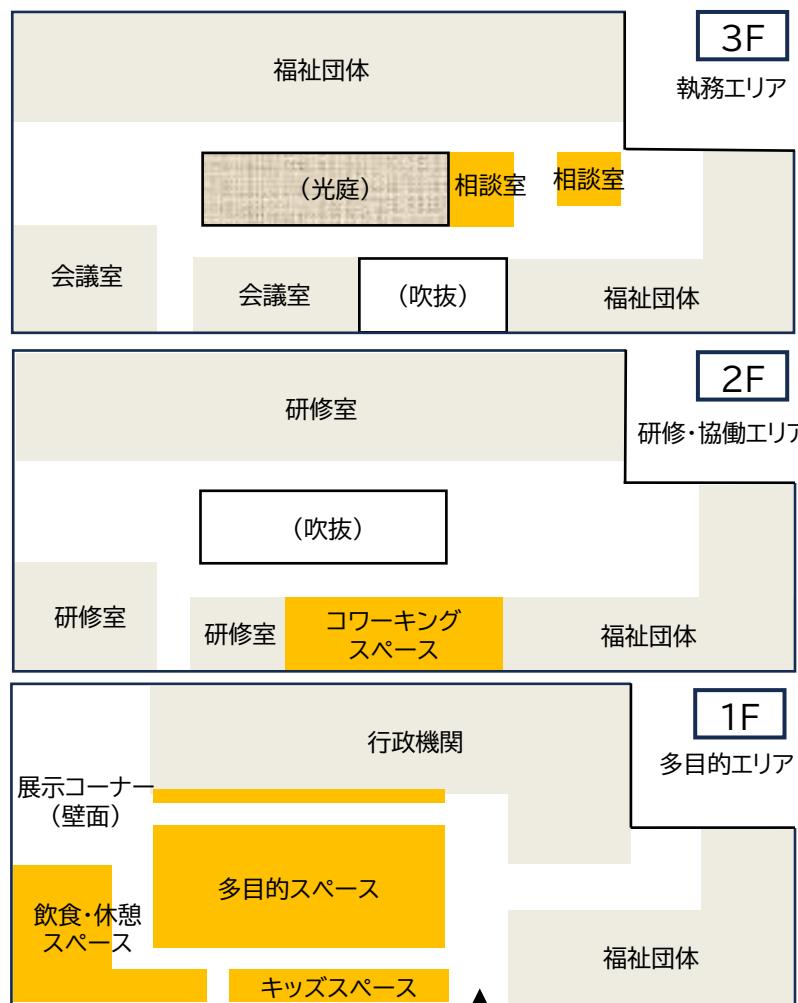
(1F) 多目的エリア

- ・多目的スペース …様々な福祉イベントを開催
- ・展示コーナー …障害のある方が作った作品など
- ・キッズスペース、休憩・飲食スペース

全国初 (2F) コワーキングスペース …各種福祉団体やNPOなどの活動拠点

(3F) 福祉団体の共用相談室

フロア配置



整備スケジュール

R8 実施設計 → R9～10 建設工事 → R11 開館予定